

新入職員 22 名が入社しました

2020年4月1日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）に22名の新入職員（うち、女性4名）が入社し、辞令を交付しましたのでお知らせいたします。

2020年4月1日（水）10時30分から国立研究所において、熊谷則道理事長より新入職員に辞令が交付され、メッセージが述べられました。

熊谷則道理事長からの新入職員へのメッセージ

本日、鉄道総研に入社されましたこと、誠にありがとうございます。

22名の皆さんを迎えられることを、私を始め、鉄道総研一同、大変喜んでおります。21名の方は本日、社会人として踏み出す最初の日となりました。

世界は新型ウィルス拡散の脅威によって混乱のさなかにあります。

近年にも、日本では大きな脅威にさらされてきました。日本で発生した大震災と津波、原子力発電所事故、歴史を遡れば第二次世界大戦、関東大震災、さらに世界では地域紛争、二度の世界大戦、種々の疫病の拡散などなど、人類が直面した脅威は数知れません。

私たちはこれまでに経験のない試練の時期を迎えようとしています。このような脅威に直面して、乗り越えることはもちろん、私たちはこの状況に何を学ぶかが試されていると思うのです。東京は緊急事態宣言発令の瀬戸際にある、との逼迫した状況のなかで、私たちはどのように行動し、学んでいくか今この瞬間、瞬間に試されていると思わずにはいられません。

鉄道や航空、バスの公共交通機関の現状を思うとき、つい最近までお客様が通勤、通学、旅行に普通に利用いただく環境を維持してきたことが守るべき貴重なことである、ということを中心に改めて気づかされます。平常ということの大事さを持続させるためにあらゆる努力を注ぐ必要のある、また、他人を大事にするために、自分の行動を律して大事にすることが他人を大事にすることになる、自分と他人の両方を思いやる行動が大事な事ではないでしょうか。

人類の知恵と自他ともに思いやる気持ちをもってこの脅威に打ち勝たねばなりません。

鉄道総研は研究開発の理念として「革新的な技術を創出し、鉄道の発展と豊かな社会の実現に貢献します」とのビジョンを設定しました。これは技術イノベーションで社会に寄与する鉄道を創造していこうという気持ちを表しています。この実現に二つのことを本日、伝えたいと思います。

第一にはフィジカルな課題であり、ひるむこ



写真 理事長から辞令を受け取る新入職員



写真 メッセージを述べる熊谷理事長

とのないチャレンジ精神を持つことです。

鉄道会社は実用成果を求めています。実用ということは、安全性、使いやすさ、保守のしやすさ、故障しないこと、低価格などいくつものハードルをクリアして達成されます。研究開発の途中で気持ちが折れることがあると思います。鉄道の現場を知り、現象の本質を見極めて、課題の解決に向けひるまないチャレンジ精神を発揮してもらいたいと思います。

第二には携えるマインドの課題であり、社会からの信頼を得て持続されることです。

企業活動で最も大切にすることは成果を利用いただく方々からの信頼です。課題を抱えるお客様に寄り添い、品質の高い成果を提案することにより信頼を積み重ねることができます。

まずはご自身と周囲の方が健康であることに最大限注力していただきたいと思います。

研究開発も自他ともに祝福することを目指しています。皆さんのフレッシュな感性とバイタリティに加え、「プロとしての情熱」を養っていただき、鉄道の価値を高めることにまい進されることを期待しています。

新入職員代表の決意表明

本日は、私どもに辞令を交付いただき、誠にありがとうございます。新入職員一同を代表し、心より御礼を申し上げます。

ただいま、理事長より心温まる歓迎と激励のお言葉をいただき、深く感銘を受けるとともに身の引き締まる思いでいっぱいでございます。私どもは、本日より公益財団法人鉄道総合技術研究所の一員として皆様とともに働けることを、誠に光栄に存じております。

本日賜りましたお言葉を胸に、多様化する社会の中で、鉄道の担う役割を見据え、今後の鉄道業界、ひいては社会の発展に貢献できるよう、邁進していく所存です。

しかしながら、私どもは若輩ゆえ、至らぬ点多々あるかと存じます。鉄道総研の名に恥じぬよう日々精進し、一研究者、一社会人として着実に前進して参りたいと考えております。どうぞご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、決意表明とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。